

志賀原子力発電所の現況（2024年1月12日現在）

- 令和6年能登半島地震により、志賀原子力発電所では一部設備に被害が発生しましたが、外部電源や冷却設備等の重要機能は維持しており、原子炉施設の安全確保に問題は生じておりません。
- 主な設備に関する現況写真をご紹介します。

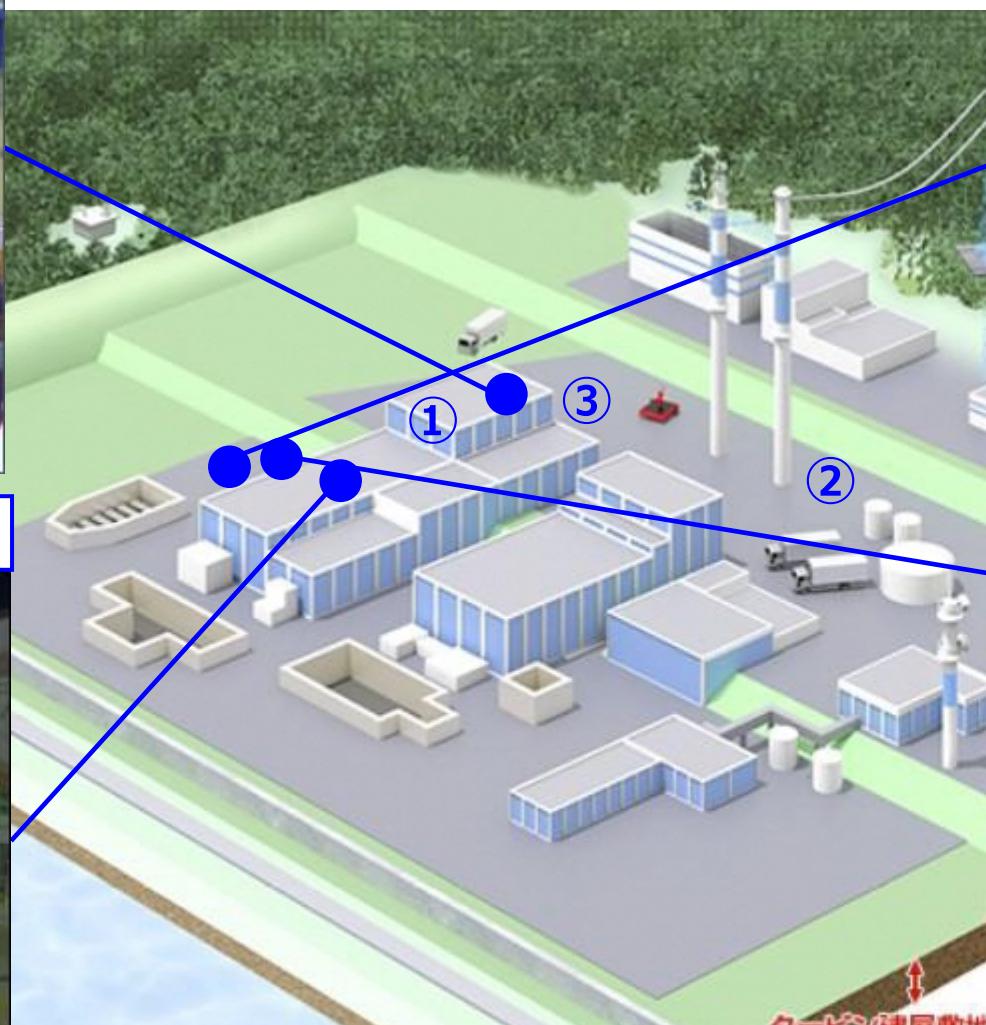
■ 2号機 使用済燃料貯蔵プール



■ 2号機 予備電源変圧器



■ 2号機 タービン建屋内



■ 2号機 主変圧器（停止中）



■ バックアップ電源（一部のみ掲載）

■ 構内道路



①非常用ディーゼル発電機(2号機)



②大容量電源車

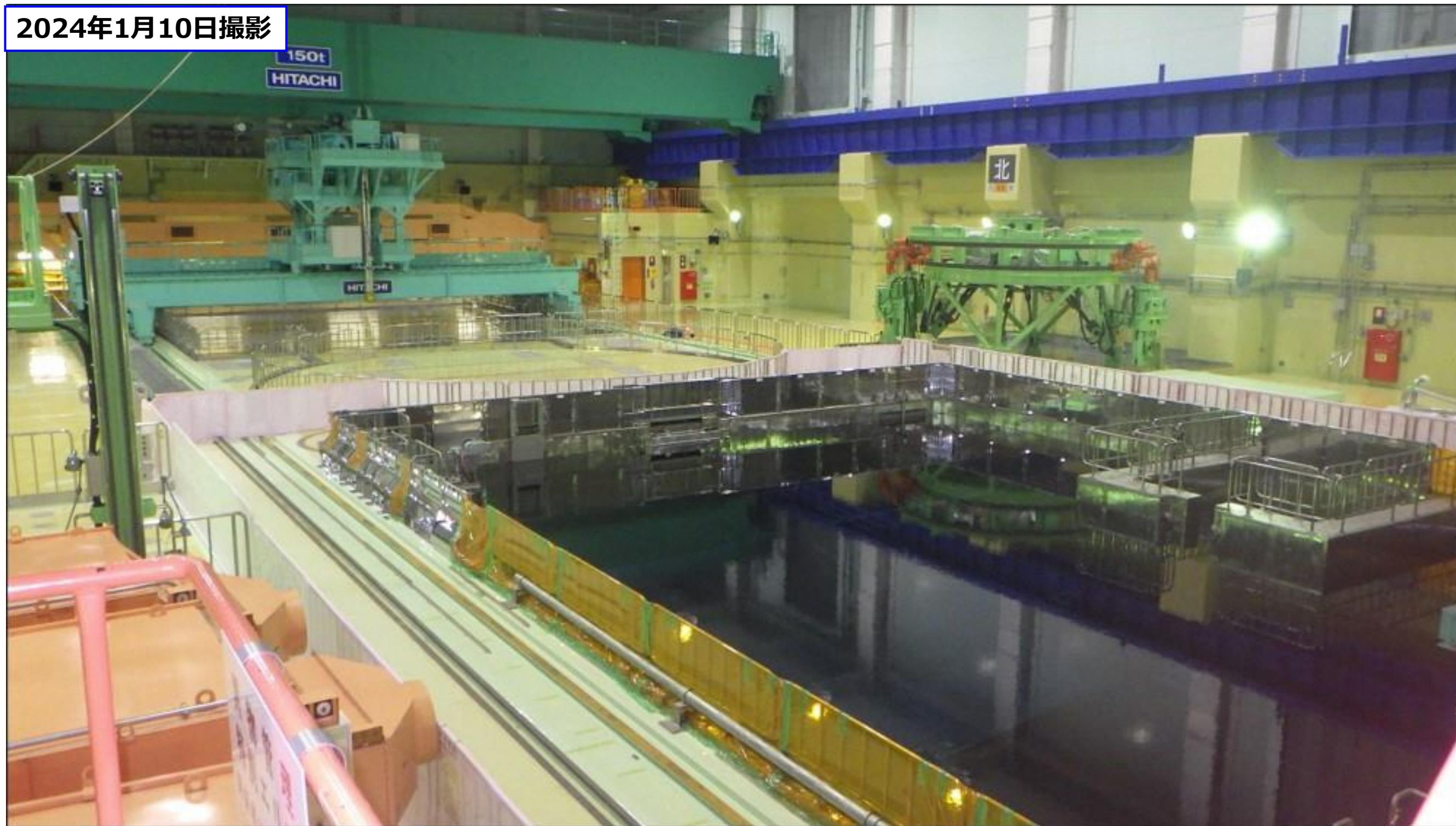


③高圧電源車

■ 2号機 使用済燃料プール

- 1月1日の地震により、使用済燃料貯蔵プール水が床面に飛散しましたが、外部への放射能の影響はなく、既にふき取りを完了しています。（1号機：約95リットル、2号機：約326リットル）
- 水位に有意な変化はなく、冷却ポンプも正常に運転しており、使用済燃料の冷却に問題はありません。

2024年1月10日撮影



■ 2号機 タービン建屋内

- 停止中の2号機低圧タービンにおいて「伸び差大」警報が発生しました。これは、タービンの停止中に発生したものであり、原子炉施設の安全確保に影響はありません。
- 今後、タービン内部の異常の有無について確認することとしています。

2024年1月10日撮影

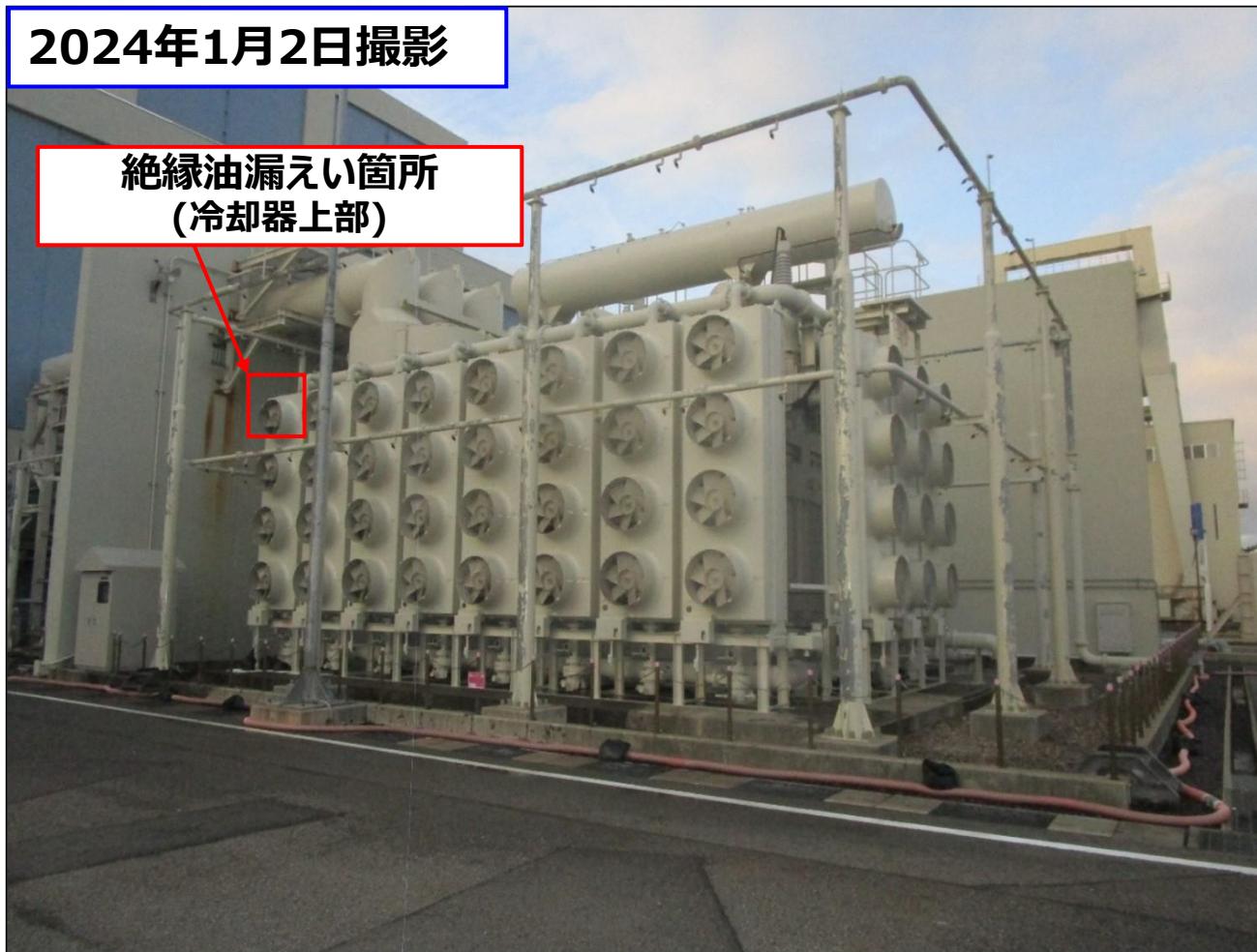


■ 2号機 主変圧器（1/1地震による油漏れを受け、停止中）

- 1月1日の地震により、2号機主変圧器の保護回路が動作し、自動的に予備電源変圧器に切り替わりました。主変圧器から漏えいした絶縁油は1月5日に回収が完了しています（絶縁油約19,800リットル（水分も含め約24,600リットル））。
- 発電所前面の海域で絶縁油が流れ出した可能性がある油膜をこれまでに2回確認しており、以下の対応を実施しています。いずれも、放射線管理区域内の漏油検知器等に異常はなく、本事象による外部への放射能の影響はありません。
 - ✓ 1月7日に確認したものは、中和剤等により処理を完了
 - ✓ 1月10日に確認したものは、排水ゲートを閉止し、海岸部にオイルフェンスを設置。
- 1月12日現在、主変圧器の絶縁油漏えい箇所には、雨水侵入防止のブルーシートを被せています。

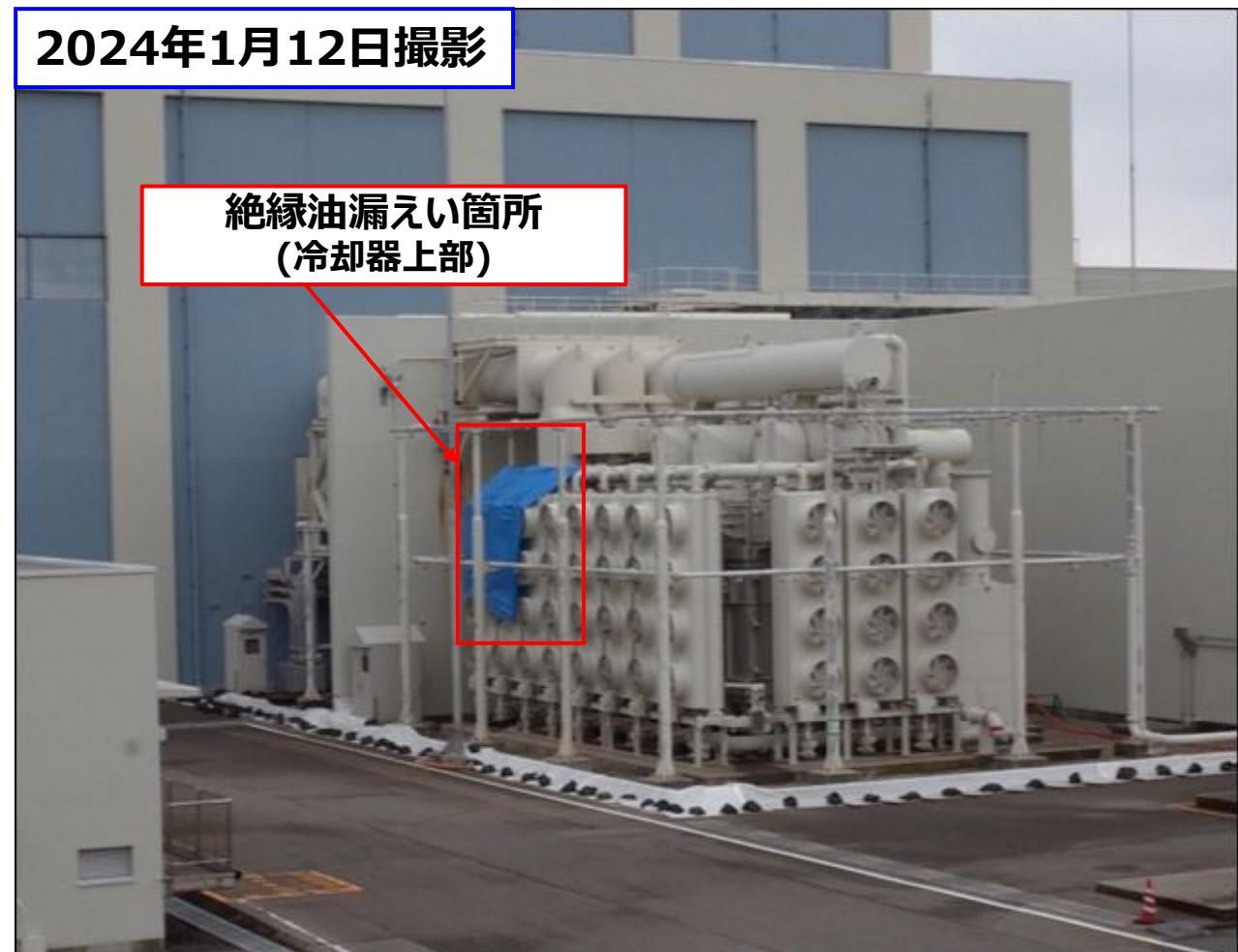
2024年1月2日撮影

絶縁油漏えい箇所
(冷却器上部)



2024年1月12日撮影

絶縁油漏えい箇所
(冷却器上部)



■ 2号機 予備電源変圧器（現在稼働中）

- 1月1日の地震により、主変圧器の保護回路が動作し、自動的に予備電源変圧器に切り替わりました。
- 現在、予備電源変圧器より受電しており、原子炉施設の安全確保に問題はありません。

2024年1月10日撮影

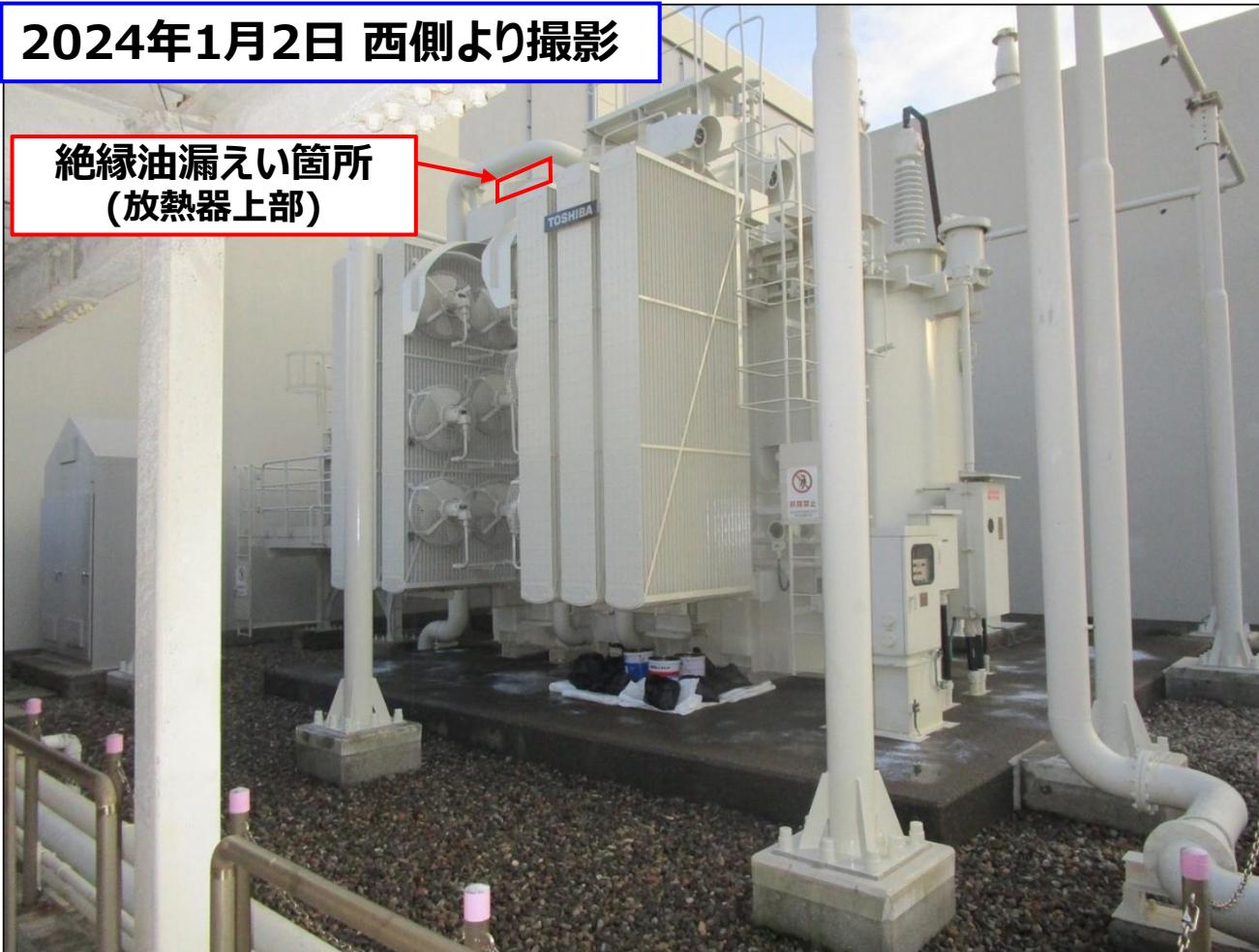


■ 1号機 起動変圧器（1/1地震による油漏れを受け、停止中）

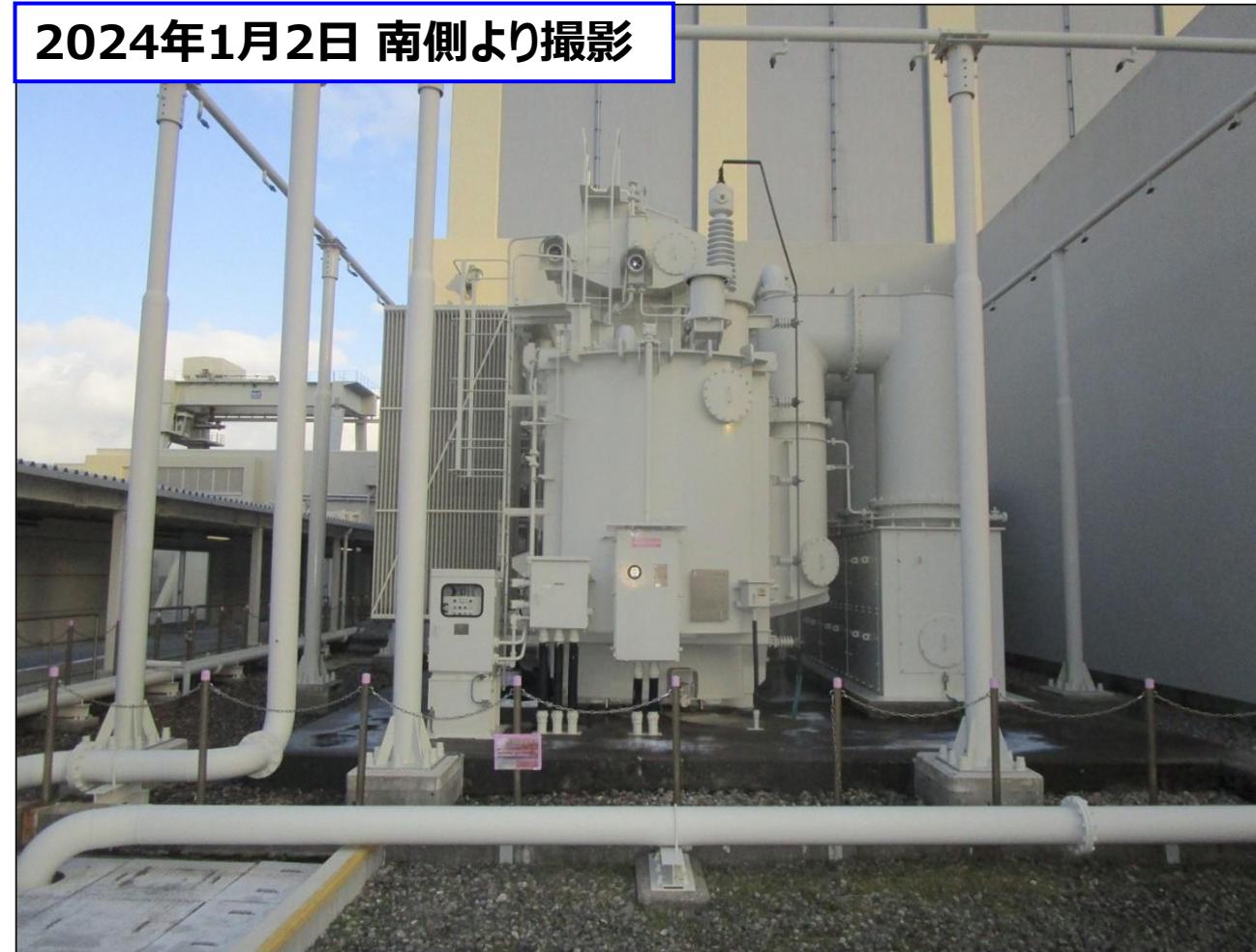
- 1月1日の地震により、1号機起動変圧器からの油漏れがあることを確認したことから、同日、代替の予備電源変圧器への切替操作を実施しました。
- 起動変圧器から漏えいした絶縁油は1月2日に回収が完了しています（噴霧消化水を含め約4,200リットル）。

2024年1月2日 西側より撮影

絶縁油漏えい箇所
(放熱器上部)



2024年1月2日 南側より撮影

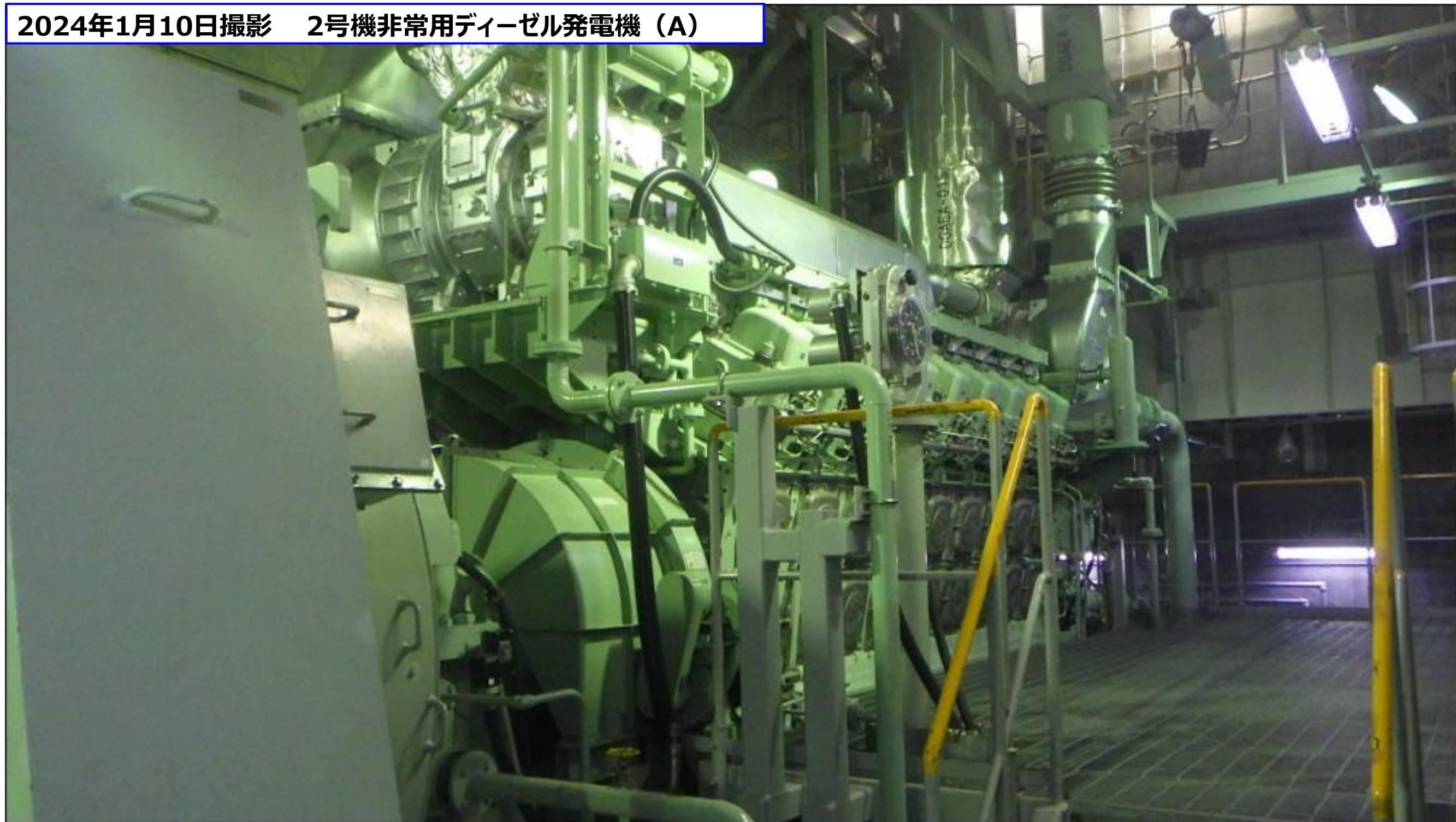


■バックアップ電源 – 非常用ディーゼル発電機

- 外部電源のバックアップ電源として非常用ディーゼル発電機（1号機：3台、2号機：3台〔うち1台点検中〕）を確保しています。

[1月12日現在]

2024年1月10日撮影 2号機非常用ディーゼル発電機（A）



■バックアップ電源 – 大容量電源車

- 外部電源のバックアップ電源として大容量電源車 2 台（うち 1 台点検中）を配備しています。
[1月12日現在]

2024年1月10日撮影



■バックアップ電源 – 高圧電源車

- 外部電源のバックアップ電源として高圧電源車 8 台（うち 1 台点検中）を配備しています。
[1月12日現在]

2024年1月10日撮影



■ 構内道路

- 発電所構内の主要道路では、能登半島地震による目立った被害はなく、車両の通行等に支障はありません。

2024年1月12日撮影 撮影場所①



2024年1月12日撮影 撮影場所②

